

卒業生と語る会を開催しました

11月6日（木）本校の卒業生5名をパネリストとしてお迎えし、「高校生活がくれたもの」～学び・仲間・そして夢のテーマで「卒業生と語る会」を開催しました。3年に一度、企業の人事担当の方と卒業生から講演形式でお話をお聞きしていましたが、今年度初めて、パネルディスカッションの形式で実施しました。卒業生5名、在校生6名がステージに向かい合って座り、自分の経験や考えを語り合うスタイルで、全体の進行はフリーアナウンサーの大友タ可里さんをお願いいたしました。

卒業生の高校時代の思い出などを交えての自己紹介から始まり、現在、学生の二人からは、それぞれ授業の中で制作した絵やオリジナルゲームの紹介もあり、歓声が上がりました。在校生にとって卒業生が、今の進路をいつ、どのようなきっかけで決めたのかが、一番関心のあることのように、メモを取りながら、熱心に聞く姿がみられました。また、在校生からの「高校時代、いろいろやっておられたと思いますが、その中で、高校生活でやっておけばよかったと後悔していることはあるか」の問いかけに、「英語」との答えが返ってきました。そのうえで、今、それをどうやって克服しているかとの在校生からの質問に、メモをとる、復唱する、動画やアプリを利用するなど、各自に合った方法で取り組むと良いのではないかと具体的な対策のアドバイスもあり、在校生の心に響く内容となりました。コーディネーターの大友タ可里さんには、話しやすい雰囲気を作り出し、卒業生と在校生の発言をうまくまとめていただきました。今日の卒業生の言葉は、生徒の皆さんのこれからの進路選択の糧になっていくものでした。



5人の自己紹介から始まりました。



在校生が質問しています。緊張感が伝わります。



卒業生の皆さん、ありがとうございました。